



いいこの森を「桜」の名所に

町緑化推進委員会 八重桜2百50本を植栽

いいこの森を「八重桜」の名所に―町緑化推進委員会（小野昭一委員長）では十月三十日、みんなの森造成事業として、町、議会、教育委員会、森林組合など関係者四十人余りの参加を願い、町民いいこの森に三年生の八重桜二百五十本を植栽しました。

いいこの森は、昭和四十九年の町制施行を記念し、一千本近い桜やツツジの植えられている八塩ダム周囲を整備造成したものです。森内には、散策道や東屋が整備され、花見や山菜採り、登山、キャンプ、ナベッコ遠足―と、文字どおり春から秋まで町民の憩いの場となっています。周辺には、町最高峰の八塩山をはじめ、茶屋長根、朴の木沢放牧場、ボツメキ水源などがあり、観光的には未開発といわれる本町にとって付近一帯は、一大観光レクリエーション地区として大きな可能性を秘めています。こうしたことから同委員会では、こうした植樹を今後も継続し、緑化推進を図っていきたくとしています。

花見は、金浦の勢至公園に始まり、東由利の八塩・町民いいこの森で終わる―今から楽しみといったところです。

町の生活目標

1. 町の心は明るいあいさつ
2. きれいな町で健康な暮らし
3. ミエ・ムダはぶいて生活の工夫
4. 学び・働き・助けあう・ゆたかな心

今年度町功労者に三氏

11月3日に晴れの表彰式



由利郡亀田町(現岩城町)

明治四十三年三月十七日生。東由利町蔵字岩館五一。

健康で明るい町づくりに尽力
に出生。昭和十五年十月、本町岩館の阿部直一郎氏(故人、元東由利村長)に嫁ぐ。
昭和三十四年東由利村連合婦人会会長に就任して以来、

阿部マサエ氏

健康で明るい町づくりに尽力



昭和三十一年東由利村議

大正二年九月二十三日生。東由利町宿字大琴二四。

町政の安定伸長に尽力
会議員に当選し、以来昭和五十五年七月に退任するまで二十四年の長い間議会議員の職にあり、この間、副議長、土木、産業経済各常任副委員長、

梅津二三雄氏

町政の安定伸長に尽力

監査委員を歴任し、常に議会の円滑な運営を図るとともに、地域発展のために産業基盤の整備に力を注ぐなど、町政の安定伸長に尽力された。
また、宿小學校PTA会長、東由利村連合PTA会長を歴任し、教育振興の推進に寄与された。



昭和五年下郷村消防組消防手となり、以来昭和四十

明治四十一年三月十八日生。東由利町老方字西ノ浜一六。

防火活動の高揚・民生安定に寄与
一年三月まで三十六年の長い間、一貫して消防人として活躍し、推されて昭和三十年七月から退任するまでは副団長の職にあり、常に第一線にたつて団員の指導練成と防火活

小松運次郎氏

防火活動の高揚・民生安定に寄与

動の高揚に努められた。
また、昭和四十年から民生児童委員に在任し、社会福祉の増進に尽力されるなど、民生安定に寄与された。
消防功労により、昭和五十六年春の生存者叙勲で、勲六等瑞宝章が授与されている。

町表彰条例に基づき、今年度の町功労者を審議する功労者選考委員会(小野廣志委員長、七人)は、十月八日町開発センターで開かれ、地方自治、民生の各分野に功労のあった、小松運次郎氏(新町、七十三歳)、梅津二三雄氏(大琴、六十八歳)、阿部マサエ氏(岩館、七十一歳)が選ばれました。

これを受けて町では、文化の日の十一月三日、町開発センターで表彰式を行い、功績をたたえる表彰状と功労者章を贈ることにしています。
功労者の業績等は、次のとおりです。

忘れていませんか
バイクの

自賠責保険

あなたのバイクは保険や共済に加入していますか。
自動車や自転車とは一味ちがった便利さが受けて、モーター・バイクの利用者が増えています。

こうしたモーター・バイクの普及とともに増加しているのが人身事故です。万一、事故を起こすと、被害者はもとより加害者も、精神的にも物理的にも大きな打撃を被ります。ましては無保険・無共済で死傷事故を起こしたら大変です。損害賠償のため、一生、借金に追われるようなことになりません。

そこで、万一、人身事故を起こした場合、損害賠償をスムーズにできるようにするため、モーター・バイク保有者は、法律により、損害保険会社の自賠責保険か、農協の自動車共済のどちらかへ加入しなければならぬことになっています。

モーター・バイクには車検制度がないこともあって、一度加入していても期限ごとの再契約を忘れがちです。現在、全体の約二割が無保険・無共済のまま走っているといわれます。モーター・バイクをお持ちのみなさん、いま一度ご確認を。

特別会計 の 状 況

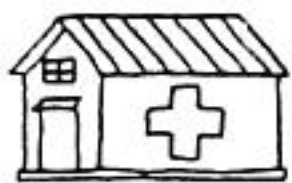
(単位：千円)

国民健康保険 特別会計



予 算 額 440,845
収入済額 163,084
支出済額 129,942

黒淵診療所 特別会計



予 算 額 2,011
収入済額 807
支出済額 680

簡易水道事業 特別会計



予 算 額 27,938
収入済額 14,516
支出済額 12,762

玉米財産区 特別会計



予 算 額 914
収入済額 2,526
支出済額 14

一般会計 歳入の状況

予算現額 2,022,382 千円 収入済額 873,131 千円
当初予算額 1,856,652 千円 (単位：千円)

町	税	予算現額	収入済額	構成比
地方譲与税	〃	144,853	(0)	8.4
地方交付税	〃	23,950	(0)	
国庫支出金	〃	751,260	(28,698)	37.1
県支出金	〃	140,589	(26,909)	
繰入金	〃	440,067	(13,423)	6.9
繰越金	〃	33,000	(0)	21.8
町債	〃	90,984	(50,984)	6.1
その他収入	〃	277,100	(52,600)	13.7
	〃	120,579	(△ 6,884)	6.0

一般会計 歳出の状況

予算現額 2,022,382 支出済額 705,607
当初予算額 1,856,652 (単位：千円)

議 会	費	予算現額	支出済額	構成比
総務費	〃	45,396	(421)	12.7
民生費	〃	209,956	(1,412)	
衛生費	〃	178,159	(6,723)	8.8
労働費	〃	59,499	(1,656)	3.1
農林水産業費	〃	4,839	(0)	
商工費	〃	713,710	(18,163)	35.5
土木費	〃	4,533	(28)	
消防費	〃	168,286	(45,396)	
教育費	〃	102,152	(5,474)	8.4
災害復旧費	〃	190,745	(31,972)	5.1
公債費	〃	127,563	(49,525)	9.4
諸支出金	〃	206,939	(0)	6.3
予備費	〃	6,605	(4,960)	10.7
	〃	4,000	(0)	

凡例 済 未 ※カッコ内は
上半期補正額

基 金 415,845 千円

土 地 7,060,822m²
(うち山林 1,262,937m²)

町有財産
財政調整基金 253,650 千円
国保財政調整基金 106,041 千円
簡易水道財政調整基金 18,344 千円
土地開発基金 20,000 千円
高額療養費貸付基金 2,000 千円
中小企業振興基金 6,000 千円
奨学資金貸付基金 1,010 千円
国民年金印紙購入基金 400 千円
高齢者等肉用牛飼育事業貸付購入基金 8,400 千円

建 物 28,168m²
有価証券 1,471 千円
出資による権利 7,837 千円
自動車、ブルドーザー等 27 台

町有財産

昭和56年度
(4月～9月)

東由利町の財政

上半期財政報告

財政報告書の作成及び公表に関する条例(昭和三十年条例第二十号)に基づき、昭和五十六年上半年財政状況を次のとおり公表します。



宿地区集落センター完成



高瀬館全景

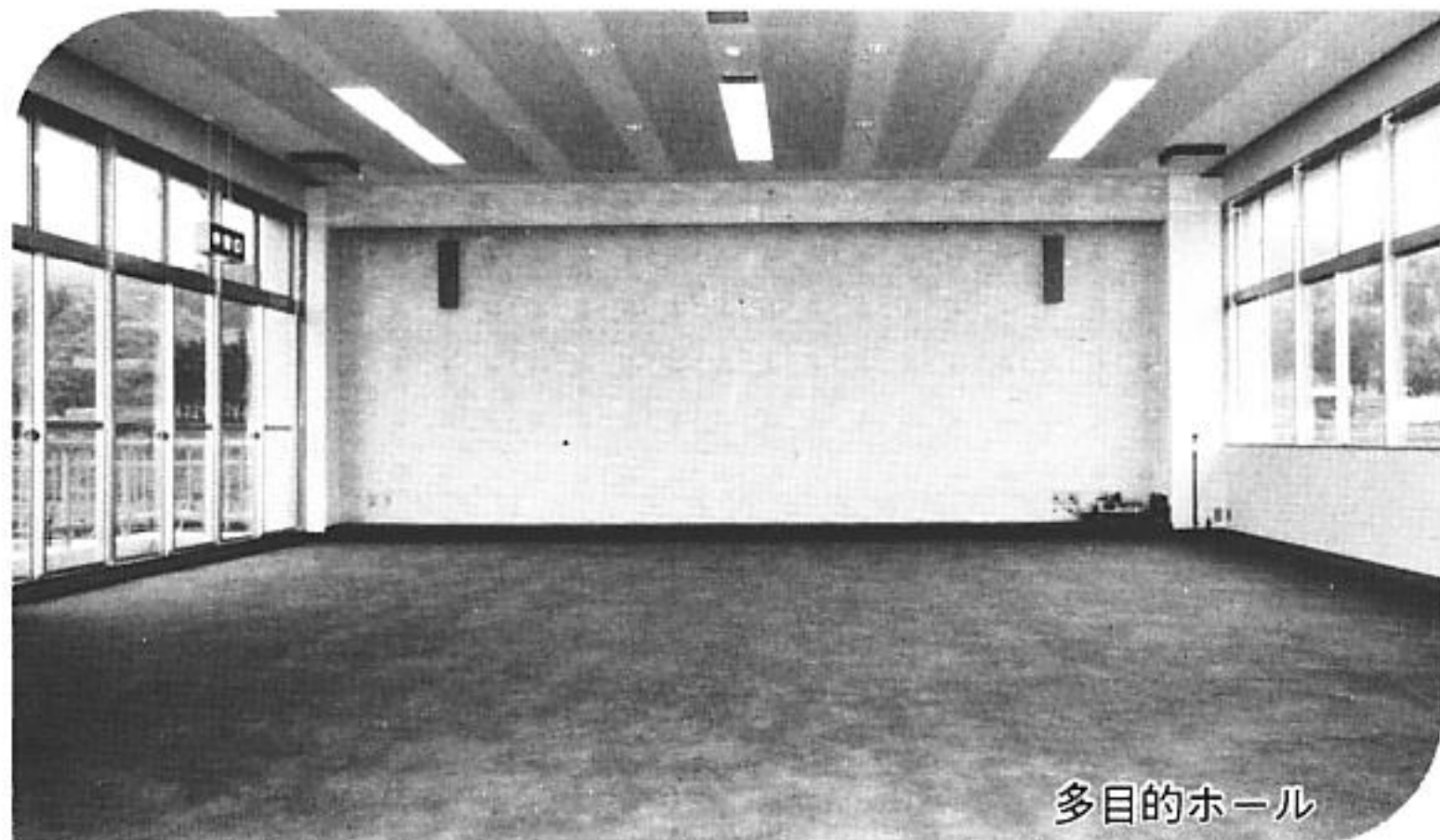
呼称は「高瀬館」

高瀬山のふもと、大琴小学校北側に建設を進めていた宿地区多目的研修集会施設（集落センター）が、このほど完成しました。

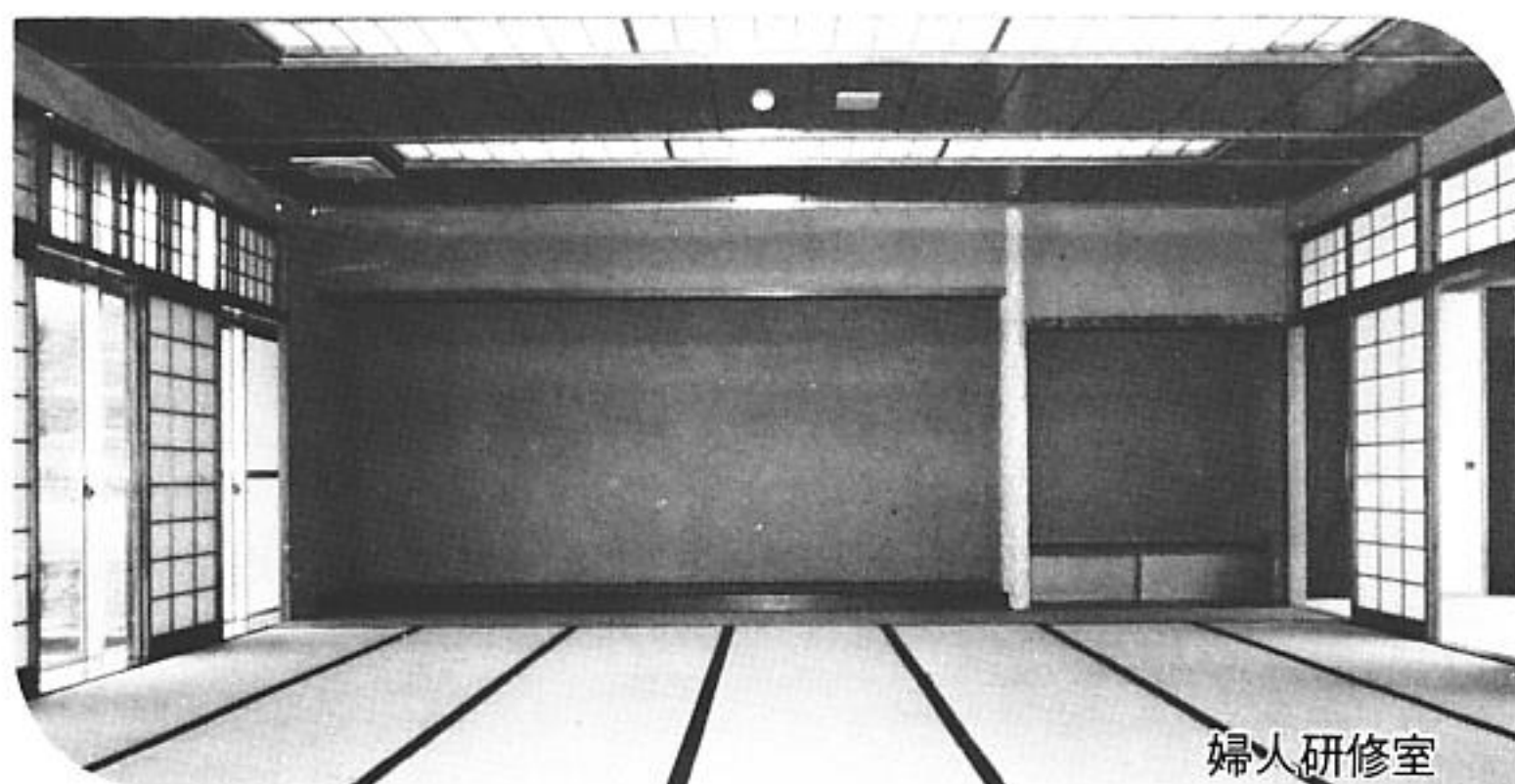
この集会施設は、新農業構造改善事業として昨年七月から工事が行われてきたもので、延床面積が四一〇・九九五平方メートル。一二五・四四平方メートルの多目的ホールをはじめ、青年・婦人両研修室、生活改善実習室（調理室）、談話ロビーなどを備えた鉄筋コンクリート

二階建ての地域拠点施設です。総事業費は約八千三百万円となっていますが、これは補助金や起債等でまかなわれるため、地区の負担はありません。

呼称も「高瀬館」と決まり、町では、十一月六日に落成式並びに祝賀会を行い同施設の完成を祝うことになっており、今後、地域のコミュニティ造り、産業、生活、文化の向上のために大いに活用されることが期待されます。



多目的ホール



婦人研修室



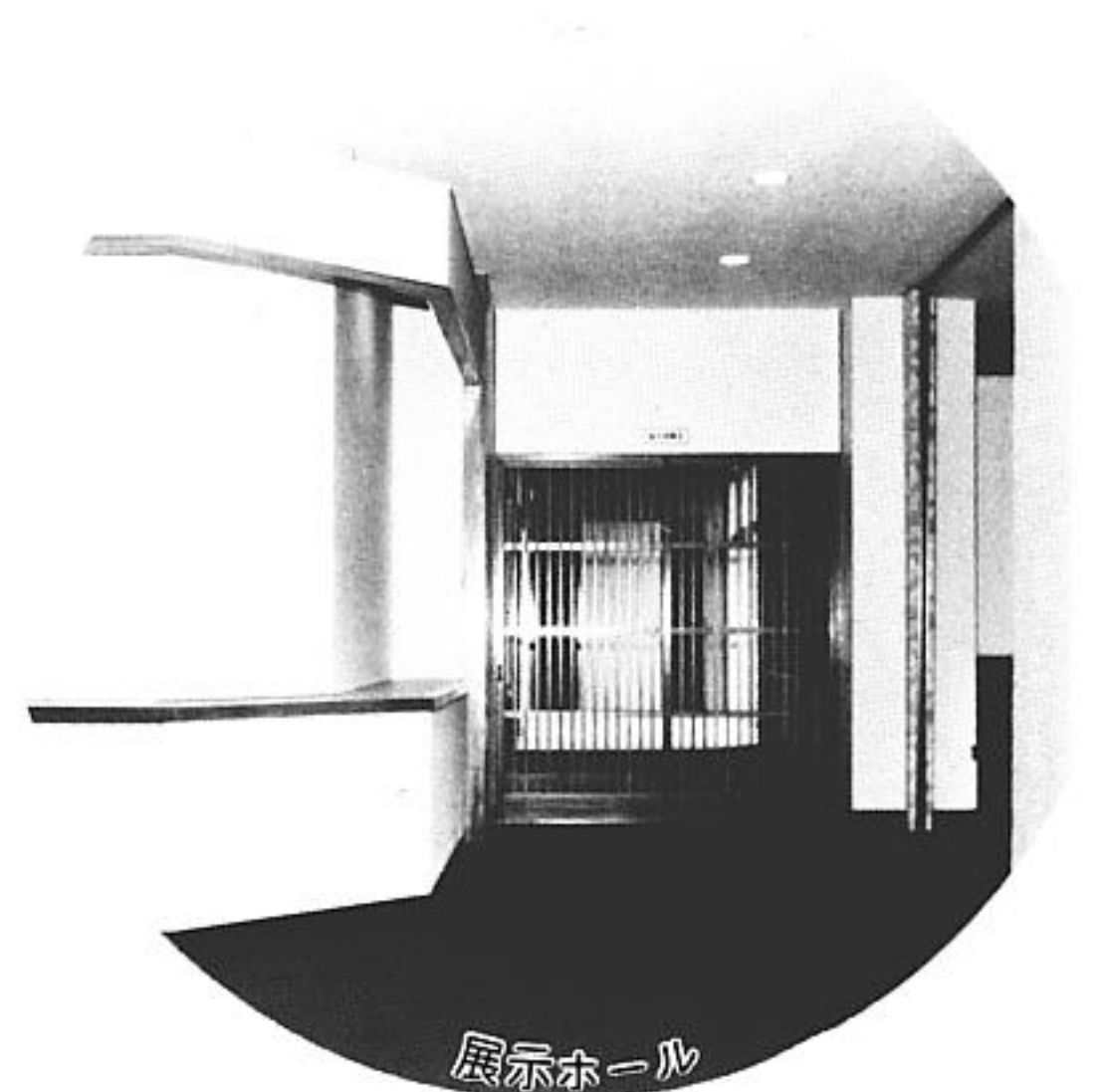
生活改善実習室

こんな建物です

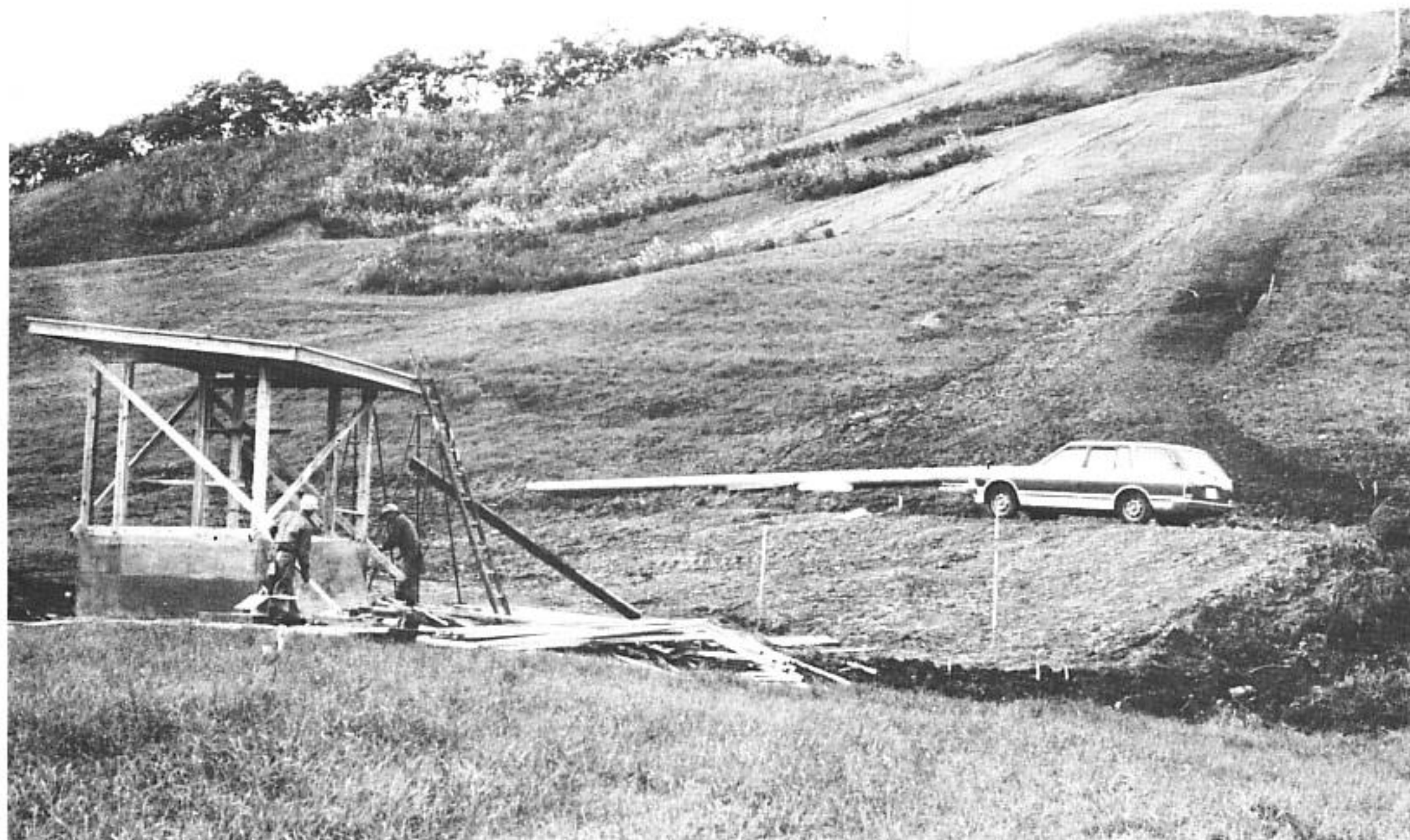
〈1 階〉



〈2 階〉



展示ホール



「ナイタースキーも楽しめる大平に」一町では、降雪を前に、大平スキー場に「夜間照明塔」と「簡易リフト」の設置工事を進めています。

同スキー場は、国道から車でわずか三分の位置にあ

り、初心者から上級者まで楽しめるスキー場として、町内はもちろん、本荘市や近隣町

郡市初のナイタースキー場

大平に夜間照明塔設置

から訪れるスキーヤーも年々増え、四年前からは秋田県スキー連盟公認の「スキー学校」

も開かれています。

しかし、折角こうした場所がありながら、仕事の都合でどうしても昼間は滑ることができず、夜間、照明施設のあ

るために、照明塔とリフトの設置を希望する声が年々高まってきていました。

このため町では、こうした要望に応えるとともに、観光資源の乏しい本町にとって自然を生かした観光開発の足がかりにと、今年度、約一千万円を投じてこれら施設の整備

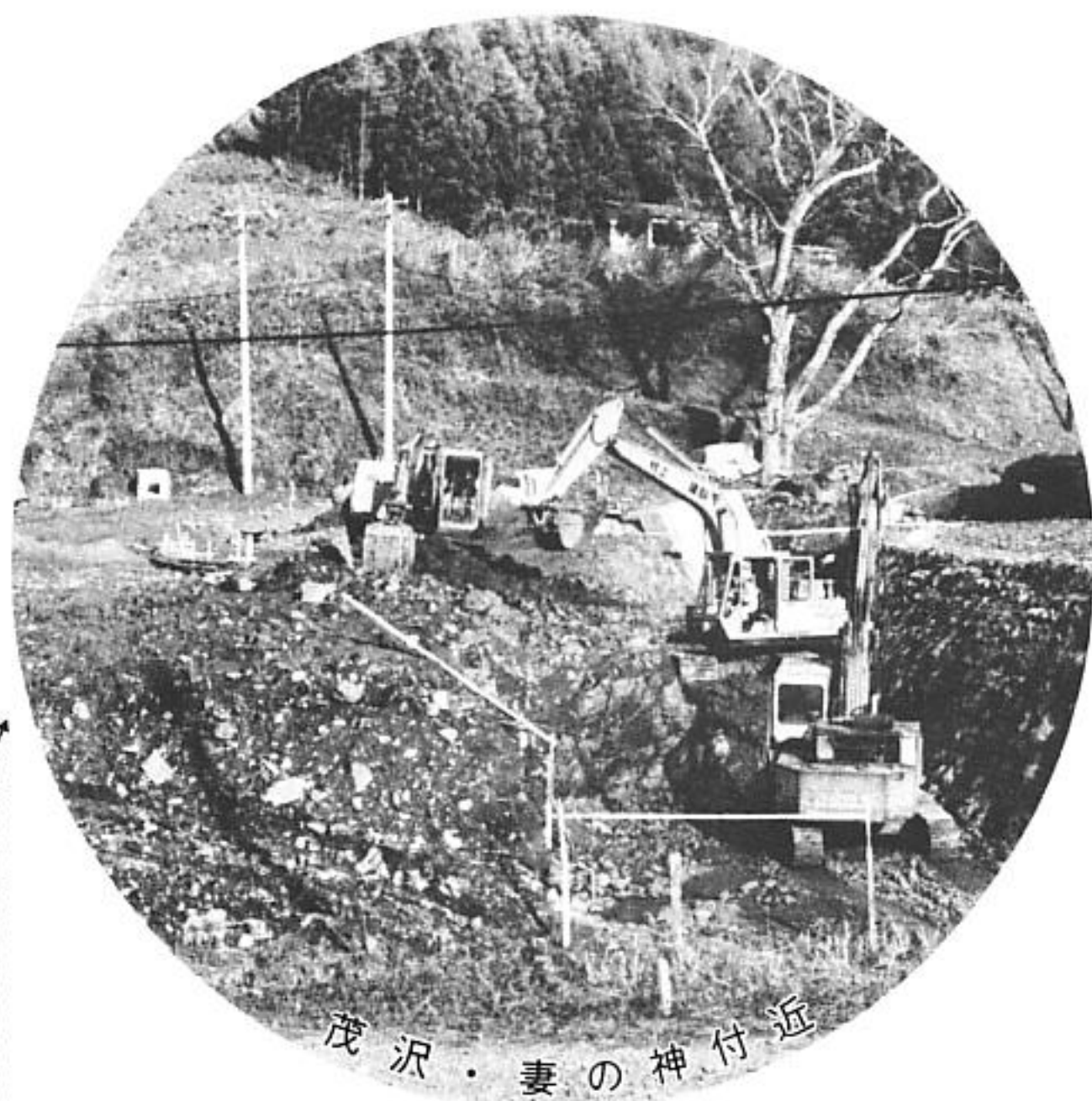
に取り組んだものです。照明塔は四基建てられ、それぞれに一キロワットの水銀灯とタングステン灯が取り付けられます。

簡易リフトは、Tバー式と呼ばれるもので、回転するワイヤーロープにつかまったり、ロープについているバーを腰

にあてたりして、スキーを滑らせて上っていくものです。

これにより大平スキー場は、本荘・由利で初めての照明つきスキー場となり、朝から夜まで、自分の時間に合わせて楽しめるファミリースキー場として、町内外から多くのスキー家族が訪れるものと期待されています。

町内スキーヤーにとって今年の冬は、特に待ち遠しいといったところでしょう。



近付神の妻・沢茂

砕石場(三〇〇〇メートル)を全幅五メートルに

茂沢川も一部つけ替え

町道倉茂沢線の大場台・砕石場から茂沢集落手前までの三〇〇メートルは、今年、農村総合整備モデル事業で全幅五メートルの改良工事が行われています。

同区間は、これまで幅員が三・〇メートルしかなく、冬期間は除雪車が入れない状態で、地元住民からは早期改良を望む声が強く出されていました。こうした地元の願いが、モデル事業の農道整備として実現を見たもので、道路と並行し

て流れる茂沢川の一部つけ替え工事も行われます。工事費は、約一千八百万円となっていますが、これは補助金や起債などでまかなわれるため、地元住民の負担はありません。

町では、改良に引き続き、来年度に舗装したいと考えており、関係者は一日も早い完成を待ち望んでいます。

毎日が防火デーです ぼくの家

11月1日～7日 秋の全県火災予防運動

- ・暖房器具は、説明書に従って正しく使いましょう。
- ・ストーブのそばで洗たく物を干さないようにしましょう。
- ・消火器や火災警報器、ガス漏れ警報器などを備えましょう。
- ・老人、子供、病人は避難しやすい場所に休ませ、寝具やカーテンは防火加工したのを使いましょう。

九月定例議会

55年度各会計決算を承認

進藤氏(再)
阿部氏(新) の教育委員任命に同意

町議会第五回定例会は九月二十九日に招集され、教育委員の任命、五十五年度各会計決算、五十六年度一般会計および簡易水道事業特別会計補正予算など十三案件を審議、いずれも原案どおり可決、認定して十月三日に閉会しました。

昨年度一般会計は、歳入二十億五千二百五十八万五千円、歳出十九億五千四百九十六万一千円、翌年度に繰越すべき財源六百六十四万円を差引いた九千九十八万四千円が実質黒字となっています。

行政報告および、一般質問、可決案件等の概要は次のとおりです。

行政報告

延引許されぬ学校統合

善徳に新水源確保

本町が現在当面している重要事項について、経緯と方針を申し上げます。

出羽丘陵開発事業は▽用地調査▽参加農家の意向調査▽経営体の検討——など事業のアウトラインについての作業は計画通り進捗しています。

今後は▽経営体編成上の内部の問題▽採算性の問題——が出てきます。低米価、減反政策は後退するとは考えられませんが、米に替わる本町の農業生産は畜産以外に無いという一致した見解、見通しの

上にたち、是非共この事業は成功させたいと考え努力していきたいと思っています。

町内には、親身になって畜

産農家の相談相手になつてくれる畜産センターの設置が要望されています。出羽丘陵開発事業の推進と並行して、この要望への対応を検討すべき時機にあると考えています。

また、基幹となる道路は、全線町負担で実施できるように今後計画し提案していきたいと考えています。

次に、法内地区をはじめ水道の新設及び拡張事業を計画したいです。

これは、善徳地区に水源を確保し、未設置地区を解消するとともに、東由利及び館合水道の拡張を行うものです。

なにぶんにも、事業費が九億

円前後になるという本町にとつては大事業になりますので水質、水量、導・送・配水管の規模等を検討中であり、近々、全体構想をまとめ、設計に持ち込みたいと考えています。

次に、小学校の問題です。五十五年度に議決をいたしながら実施致しかねたことには、大きな責任を感じています。

新議会が発足後、特別委員会が設置され、各地区の町民の意見を聴き、対話を重ねた結果を報告され、議会に於て承認されたのであります。私は、この路線によって執行すべきものと考えています。

大琴小学校の実現を見、玉米・住吉は、地区内の議員の協議により方向づけをすべきという方針に従って会合を重ねられて参ったのですが、玉米小学校の現校地にこだわら

ずという意見が出、その候補地である須郷田内を調査、また折衝された結果、地権者の同意が得られず、また、農地関係法上でも不可能であるということが明瞭になり、同地区への実現は可能性が無いということが認識されたのであります。従つて、現玉米小学校地以外の選択は、現実的に無理であるという理解が現在成り立っていると考えるしだいであります。

一昨年、私は、教育委員会の案を受け、三校案を提案しました。その際に、住民との対話が不足であるという指摘があり、各地区で説明会を開催し、その後、全町の代表者の集会を開き、その結果を報告したことはご記憶のことと思います。議会の改選期に当つて、新議会が構成されるまで事業執行を延期してほしいという要望があり、その通りにしました。私は、反対される皆さんの主張を聴いて今日に至つていてと考えています。

コンセンサスということが言われています。また、現在の社会は、多様な時代であるとも言われています。多様性というものは、人により、個々によつて意識、価値感に違いがあるということでしょう。このような多様な時代において、一〇〇パーセントのコンセンサス、つまり同意を得ることは限界があるものではないでしょうか。言うべきことは言い、論

すべきことを論じたあとは、フエアーに議会の議決にゆだね、その結果を尊重し、新しい明日を建設することが、求められる本町の姿ではないでしょうか。それが、成熟した社会の姿であると思います。

任者として、この理解と感覚を持たなければならぬと思います。

国の財政は、年一年と硬直していますし、国際環境に不測の事態が起こつた際は、地方財政にストレートに影響が出て来ます。

昨日から各国株式市場が、暴落、また、乱高下をしていくことは昨今朝のニュースで御承知のことと思います。これは、世界経済の不安から株式市場が混乱したのであります。経済不安の背景には、政治不安がある訳であり、今日世界のどこかでいつ不測の事態が起こつても不思議では無いということには識者の一致するところと聞いています。

以上で行政報告を終わります。

私達は、小さくても一個の行政を執行していく以上、責任に同意した。

【町表彰条例の全部を改正】

主な可決案件

【教育委員の任命につき同意を求めることについて】

欠員となつていた一委員について、阿部和雄氏(東由利農協理事、38歳、農業、杉森字杉森二四)の新任に同意。

十月二十六日で任期満了となる一委員については、現教育長の進藤新氏(65歳、本庄市出戸町字八幡下六八)の再

表彰の範囲に関する事項等を整備したものを。

【辺地に係る総合整備計画を定めることについて】

辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律の規定により、袖山・大吹川・須郷地区の総合整備計画を策定したものを。

【昭和五十六年発生農地、

農業用施設災害復旧事業の施行について

五十六年四月融雪により土砂崩れ発生し、土砂流によって埋没した畠山の地下内の揚水機場の復旧工事を、今年度に施工するものとした。

昭和五十六年度町営土地改良事業の経費の賦課基準等を定めることについて

五十六年度に施行した町営土地改良事業に係る経費の賦課基準、徴収の時期および方法を次のとおり定めた。

- 一、負担金の賦課基準
・ 沖田排水路・倉沢落差工・杉山、稲子沢、野田谷地用水路・松の沢ため池・舟木揚水機・向新田揚水機・団体営ほ場整備事業釜坂地区……関係受益者の受益地の地積割
- 二、徴収の方法
金銭をもって普通徴収
- 三、徴収の時期
町長が定めた時期

昭和五十六年度町一般会計補正予算(第二号)

歳入歳出予算にそれぞれ五千五百八十万二千円を追加し総額をそれぞれ二十億二千二百三十八万二千円とした。

歳出補正の主なものは▽道路橋梁災害復旧費(大下線・台山線)七百八十六万四千円▽河川災害復旧費(西の股川・土場沢川・黒沢川・稲子沢川)二千三百三十七万七千円▽町政要覧作成費八十六万四千円▽大台地区農道整備全体計画費四百六十万円……など。



決算審査報告をする
長谷山総務委員長

九月二十九日の本会議で付託された昭和五十五年各会計特別決算は、各課長等の説明を求め審査した結果、監査委員報告の通り承認すべきものと決定した。

審査の過程で、各課長にそれぞれ意見を述べてあるのじゅうぶん配慮されるよう要望するとともに、特に重要項目として次の意見を申し上げる。

五十五年における学校建設に係る大巾な減額補正について、執行者、議会共にこの事実を大きな教訓とし、

昭和五十六年度町簡易水道事業特別会計補正予算(第三号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ二百三十四万一千円を追加し、総額をそれぞれ二千七百九十三万八千円とした。

歳出補正の主なものは、東由利水道拡張推進費百五十三万八千円。

陳情・請願等

〈付託事件に係る審査報告〉
○教育民生常任委員長報告
・ 住吉・玉米小の統合早期実現について(住吉学区有志、

議会の神聖なる議決というものを今一度心にかみしめ、いやしくも朝令暮改のそしりを受けぬよう、高度の自覚を要請するものである。

次に、過疎対策協議会のよいうに、じゅうぶんに機能していない協議会、委員会について、本来の目的にそった機能

昭和55年度各会計決算審査 総務委員長報告(概要)

の活性化を進めるなど、そのあり方全般について見直しを図るべきである。特に、結婚相談所については、早急に内容の充実を図り、住民の期待にこたえられたい。

橋梁工事は、大方鋼材による「けた工事」が行われていくが、塗装工事が将来の財政

高沢健一(ほか百八十名)……採択すべきとした。

・ 台山地内消火栓の設置について(新町自治会代表小野熊蔵ほか十二名)……地区の実態を調査した上で設置すべきだとし、採択すべきとした。

・ 小学校統合促進協議会住吉地区代表小松賢および小学校統合を考える会代表藤丸隆よりの要望書……特別委員会、

負担を誘致することになり、工事費増があるものの、維持管理の点から、PSコンクリートによる橋梁を検討されたい。

教育民生 常任委員会

一、水道未設置地区は早急に解消すべきであるが、善徳

要望する。

三、消防施設の整備は、町全体の総合計画の中で優先順位を決め、推進されたい。

四、保育料は基準に従って徴収しているが、住民の要望に対応し、軽減措置を講じるよう望む。

五、玉米小学校の決算であるが、効果的運用の面から事業の継続を推進し、早期に計画達成することを望む。

六、スポーツ主事の活発な指導を期待する点から、待遇の改善を望む。

七、東由利町を内外共にイメージアップするため、パンフレットの発行を望む。

産業経済 常任委員会

一、開発センター裏庭の整

(県教職員組合本荘由利支部執行委員長村上次郎)

〈同・継続審査としたもの〉

・ 郵便貯金問題について(東由利農業協同組合組合長理事小松慎一ほか)……総務常任委員会に付託

一般質問 (要旨)

除雪態勢など

について問う

小松悌之助議員

(質問) 男子型企業の誘致

備について、町民の意向を尊重し、早期実現に努められたい。

二、昭和五十四年度に団体営草地開発事業で改良した沢中線(通称ダム道路)の終点から、ダム監視所までの未改良部分の改良舗装を計画されたい。

建設 常任委員会

一、町道未改良路線の維持管理に配慮するとともに、側溝整備を促進されたい。

二、除雪路線の格付けの見直しと、除雪作業員の休憩所の整備を図られたい。

なお、流雪溝の設置促進を前向きで検討されるよう格別の配慮を望む。

・ 小学校統合問題を考える会代表藤丸隆ほかよりの請願書……教育民生常任委員会に付託

・ 残校一校統合促進する会よりの陳情書……教育民生常任委員会に付託

堅持し、努力している。

(質問) 教育委員を欠員のままにしておくことはどういふことか。

統合問題に対する真意は。〈町長〉 教育委員については今議会に提案するので、ご協賛願いたい。統合問題に対する考えは、行政報告で述べ



陳情審査報告をする
小野教民委員長

たとおりである。

〔質問〕 除雪について、一部を業者に委託するとともに流雪溝の設置を考慮すべきと思うが。

〔町長〕 県管理の国・県道についても町が委託を受け、除雪を行っている現況であり、業者一部委託は考えていない。

流雪溝は、一〇〇町の責任で設置することはできない。水源、流末処理、維持管理等、地元の協力態勢が必要であり、そうした態勢ができて可能性が出てくると考える。

〔質問〕 除雪路線の見直し、他県道とも関連して県道老方沼館線をAランクに格上げできないか。

〔建設課長〕 道路改良が進む中でランクの見直しも考えなければならぬと思うが、保有除雪機械、能力等から同線のAランク格上げは難しい。

〔質問〕 除雪オペレーター待遇および休憩所を改善すべきと思うが。

〔建設課長〕 賃金については、郡内各町の除雪オペレーター賃金、並びに建設業者賃金を調査し、差異のないような改善をしている。休憩所については、現在のものを補修し、今後一二年は使用していきたいと考えている。

〔質問〕 行財政改革により国の財政が厳しくなると予想される中で、モデル事業をはじめ町内で実施している各事業および県関係事業の今後の

見通しについてどう考えているか。

〔町長〕 国の予算で一般的なもの、ゼロシーリングとなつた場合、町としても同じようにやっていかねければならないというところは覚悟しなければならぬと考えている。

起債償還額に対する交付税算入率の低下等が町財政に大きな影響を及ぼすと考えるが、国県の諸制度を活用し、良質な起債を選択して健全財政を堅持するとともに、予算獲得にはいっそうの努力をしたいと考えている。

〔質問〕 地場産業育成のうえから、町内企業優先参加条例等の制定を考えられないか。

〔町長〕 諸法律とも関連してご提案のような条例が制定できるかどうか研究させてほしい。

畜産指導体制などについて質問

長沼久男議員

〔質問〕 体育指導員の設置目的と委嘱基準は。

〔教育長〕 スポーツ振興法に基づき、住民に対するスポーツの実技指導、助言等を行い、スポーツの振興充実を図ることを目的に設置しているもので、指導員には、社会的に信望があり、スポーツに理解と熱意を持った人の中から十二人を委嘱している。

〔質問〕 畜産経営を確立す

るため、畜産指導センターといたつたようなものを設置し、指導体制の強化を図るべきと考えるが。

〔町長〕 御説の通りであり、畜産部門協議会や各機関等と検討し、体制づくりに努めていきたい。

幼保教育などについて問う

渡辺清一議員

〔質問〕 一昨年まで行われていた夏季住吉幼児学級が今年度は実施されていないが、また、来年度以降はどう考えているか。

〔教育長〕 社会教育の一環として昭和四十七年から実施してきたが、対象児が減少し、希望者も五十五年には四人、五十六年には二人という実情であり、所期の目的はある意味では成功裡に進められたと解釈している。明年度以降については、希望者が多くいるとなれば考慮しなければならぬと思つてゐる。

〔質問〕 今春、保育園入園希望者の中で入園できなかった人がいたと聞くが、その理由は、保育料について補助金を出す考えはないか。

〔町長〕 御承知のように、保育所は保育に欠ける者を入所させるということが原則になつてゐる。保育料は、国の基準に基づき、所得によつて決められているもので、保育

料の上限に対して補助するということとは町財政上できない。町としては、施設整備に對しての借入金については責任を持つということを行つており、間接的に父兄負担の軽減を図つてゐることは理解していただきたい。

〔質問〕 県道整備に伴う用地買収についてどう考えるか。

〔町長〕 遺地については、県職員だけの折衝では解決できないものが多くあり、地元との協力をお願いしながら、町も県に協力し、解決のために努力していきたいと考えているので、いっそうのご協力を願うしだいである。

〔質問〕 畜産振興と合わせ、堆肥置場の設置奨励や堆肥品評会を実施するなど、土づくりを推進すべきと考えるが。

〔町長〕 御説のとおり土づくりは大事なことである。堆肥の問題については今後、さまざまな角度から検討しなければならぬと考える。

〔質問〕 先の住吉小と玉米小の統合問題についての協議会の際、住吉地区に新しい会が発足したといつていたが、これは自発的に結成されたものかどうか再度問う。また、機能を發揮しなくなった会といふことも聞かれたが、新しく発足した会以外は自然的に消滅した会だと見なすのか。

〔町長〕 新しく出来た会は、自発的なものであると見ており、そういう性質を持つてい

ると解釈している。他団体はどうかということについては、その人たちの問題であり、町でどうしようべきものではないと考えている。

西山開発の進捗状況などを問う

五十嵐宗憲議員

〔質問〕 西山開発について町長は、六月議会で、近いうちに具体的なことについて協議すると答弁しているが、その後、協議したのか。

〔町長〕 現在、土地所有者と交渉中であり、近いうちに買収価格、土地の利用区分等について具体的な協議をしたと考えている。

〔質問〕 本町の稲作は平年比二割減であるとよく聞くが、調査、指導等を行っているか。

〔産経課長〕 指導センターではそれぞれ調査しているが、統計事務所の作況指数程度はいくと見ている。今後は、適期取り、調整については万全の指導をしたい。

〔質問〕 流れの悪い老方集落内の側溝を改良できないか。

〔建設課長〕 流雪溝とも関連して前向きに検討したい。

〔質問〕 火葬夫の後継者は決まっているか。決まっていなかつたら、早期解決のために万全の施策等を講じてほしい。

また、霊柩車のものを町で常備できないか。

〔町長〕 火葬夫については経済的な配慮をすべきと思うが、それだけで解決できるか難しい問題である。

霊柩車については、約束はできないが、具体的に検討していきたい。

統合問題などについて質問

遠藤正男議員

〔質問〕 飼料米作付に対し、町単独で助成策等を講じるべきと思うが。

〔産経課長〕 飼料米については、公的機関で試験中であり、本町でも昨年から試作圃を設置し、試験、研究を実施している。東由利の気象条件、適応性等を考慮し、農家のプラスになるよう進めていきたいと考えている。

〔質問〕 新処蔵間は一本道であり、災害等が発生した場合の交通確保のため、代行できる路線が必要ではないか。

〔町長〕 現在は改良計画がないが、今後まだまだ道路改良を進めていかねばならないので、そうした中で解決の方向を見出していかなければならぬと思つてゐる。

〔質問〕 企業誘致や住宅団地造成に対し、積極性が不足しているのではないか。

〔町長〕 企業は採算性を考慮した上で進出してくるものであり、単に政治性、意欲だけで解決できる問題ではない、

玉米小がアベック優勝

郡市小学校バスケットボール大会

蔵小女子は三位



大活躍／県大会出場権を獲得した玉小健児

第八回郡市小学校バスケットボール大会が、十月二十四日・二十五日の両日、鶴舞小

学校体育館で行われ、本町からは玉小、蔵小、住吉小が出場し、他市町の強豪チーム

七対二二の大差で初優勝を飾り、県大会出場権を獲得しました。

／と考える。こうした認識の上に立ち、先ず条件整備を進めていくべきだと考えている。

〔質問〕 学校統合問題について問う。

▽五十七年度に玉小小学校建築に着手したいという意向を法内地区移動町民室で発表されたが、建設地はどこか。また、須郷田地内の地権者と話

し合いをしたと聞くがどういうことか。

▽玉小小現校地拡大のため神社を移転したいというが、移転先は。また、氏子が承諾しているか。

▽財政が苦しいということから、今後建築計画している二校を二校にするということもありうるか。

▽蔵・老方面校の統合については、具体的な話し合いがまだされていないが、

〔町長〕 基本的なものは、行政報告の中でご理解願いたい。

神社移転は、町が執行できるものでないが、宗教法人(氏子)の方々と協議をし、問題解決のため努力したい。

を相手によく健闘しました。

結果、玉小の男子女子チームがアベック優勝を果たし県大会出場権を獲得したほか、蔵小女子チームが三位入賞の大活躍をしました。

男子は十三チームが出場。玉小は、一回戦新山小を四八対四の大差で破り、以後、相手チームに二ケタ得点を許さぬ圧倒的強さで決勝に進出。

決勝戦相手は、昨年二回戦で対戦し惜敗している鶴舞小。雪辱を期す玉小チームは、試合開始直後から積極的に責め立て、第二クォーターまでは鶴舞小に得点を許さず、結局、三

二校を二校にという考えは持つていない。あくまでも三校案という方針は堅持、厳守し、皆さんの協力を得て実現していきたい。

〔教育委員長〕 須郷田地内

地権者との話し合いに至った経緯はじゅうぶんご承知のことと思うが、どうしてもそうしなければならぬ情勢にあ

つたことをご理解願いたい。

議会で承認された小学校統合問題特別委員会委員長報告の趣旨に沿ってその方向に向かい、段階的に話し合いを進めている。宿・袖山の統合実現を見、現在、住吉・玉小の統合を進めており、これがすめば、老方・蔵の統合について積極的に出ていかなければ

ならないと考えている。

〔質問〕 欠員となっている教育委員をなぜ一年間も補充しなかったのか。

〔町長〕 プランクをおいたことは申し訳けなく思っており、今議会に提案するので、ご協賛を賜りたい。

(順不同)

女子は、九チームが出場。二年連続優勝をめざす玉小は、危なげない試合運びで、これまた圧倒的強さを示し決勝に進出。

勝ち進んだ蔵小は、鶴舞小と対戦。東田利同士で決勝をーと盛んな声援を受け健闘しましたが、今一步のところで惜しくも涙をのみました。

県大会は、来年一月五日から三日間、秋田市の県立体育館で行われることになっており、玉小健児の活躍が期待されるそうです。

成績は次のとおりです。

〔男子の部〕

▽一回戦 玉小48ー4新山
矢島66ー14住吉
平沢46ー17蔵
▽二回戦 玉小68ー8象潟
玉小38ー8子吉
▽準決勝 玉小37ー22鶴舞
玉小37ー22鶴舞

決勝戦は、昨年と同じ鶴舞小との対戦。結局、玉小は、雪辱を期して食いさがる鶴舞小を四〇対三〇で退け、堂々二年連続県大会出場権を獲得しました。

またこれより先、準決勝に

勝ち進んだ蔵小は、鶴舞小と対戦。東田利同士で決勝をーと盛んな声援を受け健闘しましたが、今一步のところで惜しくも涙をのみました。

県大会は、来年一月五日から三日間、秋田市の県立体育館で行われることになっており、玉小健児の活躍が期待されるそうです。

成績は次のとおりです。

〔男子の部〕

▽一回戦 玉小48ー4新山
矢島66ー14住吉
平沢46ー17蔵
▽二回戦 玉小68ー8象潟
玉小38ー8子吉
▽準決勝 玉小37ー22鶴舞
玉小37ー22鶴舞

国保の窓

医療費は加害者が

交通事故など、第三者から傷害を受けた場合、その医療費は、被害者に重大な過失のない場合に限り、加害者が全額負担すべきものです。

国保と交通事故

しかし、現実として、加害者との話し合いがつかなかったり、加害者にお金の持ち合わせがなかったりすることが多く、そういう場合、国保を使って治療をう

にその立て替え分を請求することになります。

国保で治療を受けるとき

① 加害者から現実に治療

けてもかまいません。

ただし、この場合、医療費は、本来加害者が負担するべきものを、国保が一時立て替え払いをすることになりますので、あとから国保が加害者

② 「第三者行為による傷病届」(役場に有ります)を提出しなければなりません。これが、後日加害者に立て替えた分を返還してもらう大切な資料になります。

③ その他、警察の事故証明書や、示談が成立した場合の書類など、いろいろありますので国保担当係にご相談して下さい。

一般
会 計

9千98万4千円の黒字

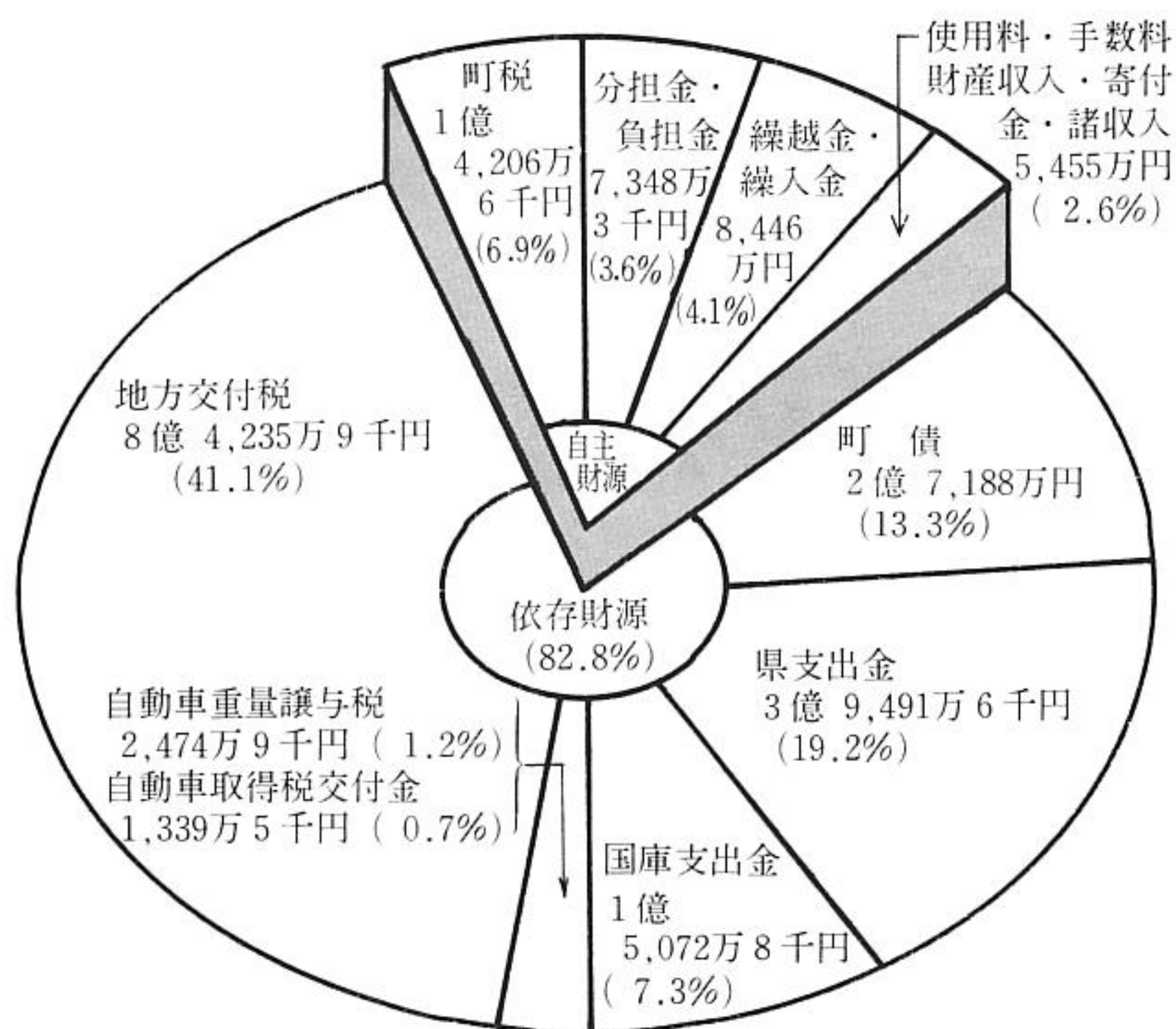
昭和55年度各会計決算

効率的に財政運用

昭和五十五年度の各会計決算が、九月二十九日から五日間にわたって開かれました九月定例議会で承認されましたので、そのあらましについてお知らせします。

歳入の状況

合計 20億 5,258万 5 千円



四割が建設事業に

一般公共債の起債充当率が九五割から七五割に抑えられ、極めて厳しい情勢の中で編成された昭和五十五年度予算でしたが、執行に当たっては、創意と工夫を凝らし、経常経費は極力抑え、効率的な財政運用を図り、豊かな魅力ある町づくり」に努めました。

この結果、一般会計決算額は、歳入合計二十億五千二百五十八万五千円、歳出合計十九億五千四百九十六万一千円となり、翌年度に繰越すべき財源六百六十四万円を差引いた九千九十八万四千円の黒字決算となり、昭和五十六年度に繰越しました。

歳入の中では、地方交付税が八億四千二百三十六万円で最も多く全体の四一・一割を占め、次いで、県支出金、町債、国庫支出金となっており、

す。町の財政力を示す自主財源は、三億五千四百五十六万円で全体のわずか一七・二割にすぎません。

一方、歳出の状況を性質別に見てみると、全体の四割近い七億八千六十七万円が普通建設事業費となっており、災害復旧費と合わせると実に四三・三割が「明るく住みよい町づくり」のための投資的建設事業に使われています。

歳入、歳出の内訳と主な建設事業実施概要は次のとおりです。

決算審査報告(概要)

代表監査委員 小 番 銚 平

・審査の主眼

一、予算執行の内容と効果について

- (1) 予算配当、執行の時期が適切であったか。
- (2) 物品および財産購入の時期、質、量、価格が適切であったか。
- (3) 工事の設計に問題はなかったか、また不要不急のものはなかったか。
- (4) 検査、検収事務が適切に行われ、不経済な支出が行われなかったか。
- (5) 効果が期待できない財政援助はなかったか。

二、収入確保について

- (1) 調定事務の公正が保たれているか。
- (2) 減額、更正に相当の理由があったか。
- (3) 徴収事務は厳正に処理されていたか。

三、会計処理について

- (1) 会計年度の独立の原則は守られているか。
- (2) 出納閉鎖期日は厳守されているか。
- (3) 予算の議決前の執行はなかったか。
- (4) 予算超過(議決、配当)の支出をしていないか。
- (5) 予算の目的外支出は

なかったか。

(6) 予算流用は当を得ていたか。

(7) 予備費充当は当を得ていたか。

(8) 収入、支出科目に誤りがなかったか。

(9) 記帳その他諸計算に誤りはなかったか。

・むすび

昭和五十五年度一般会計決算および特別会計決算について、審査の主眼に従い審査を行った。その結果、特に問題はなく適正と認め

昭和五十五年度は、住民の切実な与望をにないつつ、しかも、財政見直しという厳しい世論を背に運営されたが、歳入の確保と歳費の節減に努力をほらい実を挙げた成果には敬意を表する。国の本格的緊縮財政政策の影響が地方自治体におよび、本町の今後には、さらにかかる中にも、住民の期待は一層募り、厳しい選択に迫られることになろうが、公正適切な財政運営を計って、引き続き住民福祉の向上に努力されるよう切望する。

昭和55年度

主な建設事業の実施内容

事業名	事業費 千円	事業の概要
〈道路〉		
西山線改良	36,000	L = 200m、W = 8.75m
須郷農道改良	60,600	L = 692.5m、W = 5.0m
篠沢農道改良	30,300	L = 209m、W = 5.0m
大平地区農道改良	82,750	L = 1,190m、W = 4.0m、橋梁44.5m
八塩開拓農道整備	6,818	L = 709m、W = 5.0m
玉米地区山村基幹農道	1,612	改良L = 165m、W = 5.0m 舗装L = 380m、W = 4.0m
大下地区農道橋	22,539	L = 58.6m、W = 5.0m
新町線集落道整備	19,977	L = 173m、W = 4.0m
石田坂橋拡幅改良	23,900	L = 52.92m、W = 6.0m
農免農道整備負担金	10,266	根小屋線改良L = 887m、W = 7.0m 舗装L = 3,039m、W = 5.5m
"	10,439	軽井沢線改良L = 1,651m、W = 7.0m 舗装L = 1,740m、W = 5.5m
県営農道整備負担金	3,666	八沢木地区(高村線)改良L = 480m、W = 7.0m
ボツメキ林道開設	27,026	L = 720m、W = 4.0m
軽井沢林道舗装	7,830	L = 265m、W = 4.0m
時雨山線改良	17,925	L = 383m、W = 5.0m
高戸屋線改良	21,772	L = 601m、W = 5.0m
台山2号線改良	11,844	L = 292m、W = 4.0m
蔵上里線改良	8,492	L = 107m、W = 5.0m
松台線改良	14,204	L = 198m、W = 5.0m
宿2号線改良	2,467	L = 77.1m、W = 5.0m
新町線舗装	7,326	L = 398m、W = 5.0m
朴ノ木沢牧道整備	979	簡易舗装L = 165m、W = 2.5m
〈生産基盤〉		
釜坂地区圃場整備	27,573	工事12.8ha、換地14.5ha
舟木地区暗渠排水	4,301	4.5ha
宮上地区暗渠排水	37,370	暗渠18.8ha、排水路887.5m
法内地区暗渠排水	42,864	暗渠40.5ha、水路L = 477.8m 敷砂利L = 1,560m
ヤヅマ地区かんがい排水	11,310	揚水機一式
海瀬地区草地造成	11,200	5ha
団体営草地造成	6,592	草地造成0.8ha、草地整備6.0ha
自給資料生産総合振興 対策事業	1,896	草地造成1.39ha
第二次農業構造改善	15,576	近代化施設
〈林業〉		
公有林造林事業	13,691	保育224.15ha、補植0.47ha
特用樹林造成	3,260	新植一斉林2ha、列状7ha
作業道整備	3,940	L = 1,340m、W = 3.0m
〈生活環境・他〉		
宿地区多目的研修集会 施設整備	29,206	RC造A = 410.995㎡、56年継続事業
大吹川・袖山地区 営農飲雑用水施設	4,272	設計委託料他
杉森地区営農飲雑用水施設	29,373	
集落排水整備向山線	1,199	
消防施設整備	22,408	ポンプ自動車1台、ポンプ積載車1台 ポンプ付積載車1台、防火水槽3基 格納庫2棟
東由利中給水管工事	3,300	給水設備工事L = 1,237m
横渡ごみ処理場水路工事	588	

歳出の状況

合計 19億 5,496万 1 千円

(カッコ内は構成割合)

議会費 (2.2%)

4,311万 1 千円



議員の報酬・旅費・職員給料
など

総務費 (15.5%)

3 億378万 5 千円



役場の光熱水費、備品、広報、
統計、選挙、財産管理費など

民生費 (7.8%)

1 億5,179万 6 千円



年金、老人クラブ補助、保育所、
福祉バス、福祉医療費など

衛生費 (2.9%)

5,754万 8 千円



保健活動、成人病、伝染病、
火葬場、し尿・ゴミ処理など

労働費 (0.2%)

474万 1 千円



出稼ぎ対策費など

農林水産業費 (34.3%)

6 億7,028万 5 千円



農道改良、ほ場整備、造林、畜
産、水産振興など

商工費 (0.1%)

203万 7 千円



商工業育成補助・観光など

土木費 (10.7%)

2 億892万 9 千円



道路・橋梁の新設・改良・舗
装、冬期交通対策費など

消防費 (4.8%)

9,373万 5 千円



消防施設、広域消防事務組合
負担金など

教育費 (9.1%)

1 億7,841万 2 千円



学校施設、教材、公民館活動
費など

災害復旧費 (3.4%)

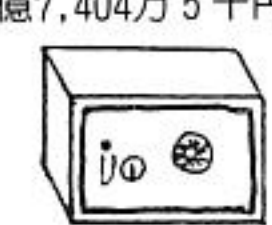
6,653万
8 千円



思いがけない道路や河川の災害
復旧

公債費 (9.0%)

諸支出金
1 億7,404万 5 千円



町が借りたお金の償還元金と
利子、公有財産購入費など

性質別歳出決算の状況

項目	決算額 千円	構成比 %
人件費	319,154	16.3
物件費	176,632	9.0
維持補修費	46,721	2.4
扶助費	58,235	3.0
補助費等	212,357	10.9
公債費	169,154	8.7
積立金	111,976	5.7
投資・出資金・貸付金	9,843	0.5
繰出金	3,679	0.2
投資的経費		
普通建設事業	780,673	39.9
災害復旧費	66,538	3.4

特別会計の状況

玉 米 財 産 区	簡 易 水 道 事 業	黒 淵 診 療 所	国 民 健 康 保 険
歳 入	歳 入	歳 入	歳 入
歳 出	歳 出	歳 出	歳 出
三 八 八 万 三 千 円	二 六 二 七 万 三 千 円	一 八 〇 万 九 千 円	四 億 一 千 二 百 四 十 六 万 五 千 円

海外研修レポート①

本町宇戸坂の佐藤力弥さん(27歳、商業)と須郷田の佐藤カヅ子さん(33歳、役場臨時職員)は、昭和五十六年度秋田県海外研修事業の青年・婦人部門参加団員として、去る八月二十六日成田空港を飛び立ち、ヨーロッパ四カ国を訪問し、各地で視察研修、交換交流を行い、九月八日に帰国しました。

そこで、お二人に、初めての欧州研修で何を知り、何を感じたかをレポートしてもらいましたので二回にわたり紹介します。

今号は、佐藤カヅ子さんのレポートです。

かいま見た西ドイツ

佐藤 カヅ子(須郷田)

「ヨーロッパ——それは私にとって遠い異国の地。」

「フランスにいきたくしと思

えどもフランスはあまりに遠し、せめて新しき背広を着て

きままなる旅にいでて見ん……」

この詩をいつも口ずさんでいた私。生涯のうちで外国の

地を踏めるときがあるとは夢にも思っていまませんでした。

それが現実のものに……。喜

びと、初めて外国の地を踏む不安を交差させながら八月二

十七日、成田空港を飛び立ち二週間に及ぶ海外研修の途に

ついたのです。

ソビエト、スウェーデン、西ドイツ、フランスの四カ国

八都市を駆け足で訪問。その

中で、私にとって一番印象深

かったのが西ドイツです。

ドイツ車にまじり

奮然と走る日本車

九月二日、水曜日、晴れ、現地時間十一時四十分、フランクフルト着。入国手続きを

すませて空港から約一時間、バスで四車線のアウトバンに

乗り市内へ。(このアウトバンは、ドイツ国内すべて無料、

時速制限なし)

町の中は、さすが自動車王国と言われるだけあって、ベ

ンツのタクシー、ポルシェ、フォルクスワーゲンなどが我

が物顔に走っていました。が、

その中で、奮然と走っている

我が日本車を発見したときは

何か言いようもないものが込み上げてきてなりません。新聞紙上を賑わしている、日本経済の進出、欧米との対日貿易摩擦問題など、女の私には縁遠い物と思っておりましたが、実際の目の当たりにし、より現実的なものとして意識せざるを得ませんでした。

驚きノ授業中に子供が机上に腹ばい

ザクセンハイザーベルク公立小学校二年生の授業風景を見て驚きました。

机の上に腹ばいになっている子供、ほおづえをついている

子、隣りの机にかけよったりする子、手を洗う子……そ

れなのに先生は、ただ「静かに」と言うだけ。私たちが小

学校の頃は「こら！」とすぐさま怒られたものだ。が、それは、姿勢にばかり気を取られて授業に身が入らなくなるといふ考えからくるもので

あって、別に気にとめる必要がないとのこと。だからと言

って、子供たちは勉強して

ないのではなく、むしろ遊びの中から勉強をし、物を覚え

て行くという方法を取っているのだそうです。こうした中

でも、登校拒否ということがあ

るが、何カ月かが過ぎると自然に学校に戻ってくるので

問題にするほどでないとい

日本のような塾はないが、個人レッスンとしてスポーツク

ラブやダンスなどに通わしているとい

先生の服装といえば、ジーパンにTシャツ、またはセー

ターといった軽装。職員室も実に殺風景で、机の上には花

びんとポット、コーヒー、灰皿、あとはペンとノートが置



立会(中央)の交流会とクラブ員との交流(左)の佐藤さん、ミュンヘン

息の場所であり、子供たちのための予習や復習は、学校が午前中で終わるため、午後家に帰って自宅で行うとい

ます。

この学校には、十二カ国の外国人の子供たちがおり、その中に日本人の子供もいて、たいへん他の国の子供より優れていると聞き、「ああ、日本人に生まれて良かった」と感激したしだい。

勤勉さが経済大国に

ドイツ国民は、一人四カ国から五カ国語(英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ロシア語)を話すことができると言い、しかもそれは、隣

国が陸続きであり、他国との交流が激しいために自然に覚

えていくと言います。

東側の亡命者、中近東諸国の出稼労働者(特にトルコ人)

など、多くの人たちが集まり、治安の悪さや失業者が溢れて

いるという大きな社会問題を抱えている西ドイツ……敗戦

という共通の体験をした日本と西ドイツ……お互いに経済

大国にのし上がってきたのは、国民性における勤勉さ、規律、

權威などからであろうか。

自然との調和を考えた都市づくり

自然の造形、造成に力を注

ぎ、自然との調和を考えて環境の美化を維持するとともに、都市計画においては緑を失わないようにと、アウトバンの両側、森の中を縦横に走るト

レイニングコースの両側など

に美しいさまざまな木々が林立しており

緑の多いフランクフルト、この緑地は、ただ単に市民の

休息のためだけでなく、スポーツやゲームのためのあらゆる施設も提供してくれ

ます。建物と緑と花が調和され、まるで絵本の中に出てくるお

とぎの国のような町。ハイデルベルグ。この平和に見える町並みで、大使館員の狙撃

事件が起きたとは想像を絶するものがあります。

ヒットラーが氣勢を上げたというホープロイハウス(ミ

ュンヘン)でいただいた生ビール、フランクフルトソー

ージ、アイスクリームのおいしかったこと。

今後の暮らしに生かす努力を

「ああ、もっと時間がほしい」と思いつつ夢のごとく過ぎてしまった二週間……。ほんの一面をかいま見ただけのことながら、この感激をひとつひとつ確かめ、今後の暮らしの中に生かせるように努力していきたいと思

います。

足防指導隊が発足 本町から四人が隊員に

住民による自主防犯活動を効果的に、犯罪および事故のない明るい社会づくりを—と本庄地区防犯協会防犯指導隊本庄警察署管内)が発足、十月八日佐藤本庄署長から各隊員に委嘱状が交付されました。

同指導隊は、本庄・東由利・由利・大内・岩城の五市町から選ばれた三十人で構成され、

本町では、小野松雄さん(蔵新田、四十六歳)、高橋隆男さん(下小路、四十六歳)、佐藤順治さん(下小屋、四十五歳)、佐藤謙さん(寺田、四十三歳)の四人が隊員になっています。

隊員らは、広報活動や各戸の防犯診断、非行少年のたまり場や各種行事の際のパトロールなどを行い、犯罪や青少年の非行防止活動を進めていくことにしています。

遠藤君(三年)が知事賞

省エネの標語・ポスター募集



知事賞に輝いた遠藤君

十月の国際省エネルギー月間にちなみ、省資源・省エネルギーに関する標語・ポスターの入選作品が、九月三十日に発表され、標語部門で東由利中学校三年の遠藤義和君の「省エネはあなたの未来の

高橋さん(下小路出身)が漫画家に

週刊「少年キング」からデビュー

球コメディ漫画。

本町下小路出身で東京・板橋区向原に住む高橋達夫さん(俊二郎氏長男)は、このほど、新進気鋭の漫画家として週刊「少年キング」からデビューしました。

デビュー作品は「ミスター・ジュニア」と題する連載野



漫画家としてデビューした高橋さん

生まれの二十九歳。小さい頃から三度のメシより漫画を書くのが好きで、すでに中学生時代から、将来は漫画家になると心に決めていたそうです。昭和五十一年、秋田大学鉱山学部卒業とともに、漫画家・永井豪の主宰するダイナミックプロダクションに入社。基礎を学び、腕を磨いた後、五十五年七月に独立。その力量が認められ、五十六年九月二

十五日発売の週刊「少年キング」四十四号から、本名でデビューとなったものです。「まだスタートラインに立ったばかり。当面、同じ秋田県出身の矢口高雄先生や小池一夫先生を目標に、一步一步確実にマンガ界の階段を登りつめていきたい。ふるさとの皆さん、よろしくご指導と応援をお願いします」と話す高橋さん。人知れぬ苦労と努力のすえ、念願の漫画家として巣立ちした高橋さん。すでに二作目も長期連載が予定されているといい、今後の活躍が期待されるところです。

エネルギー」が、知事賞(優秀賞)に輝きました。

同部門には、県内九校(中学校)から三百二点が応募され、厳正な審査の結果、遠藤君の作品が、最高の賞に選ばれたものです。

石油の九八・八割を輸入に頼るわが国にとって、省エネルギーは単なる「節約」にとどまらず、石油・石炭・天然ガス・原子力に次ぐ、国民一人一人が生み出す「第五のエネルギー」とも言われています。折から暖房用の灯油の需要が増える時期、あなたのご家庭でも「第五のエネルギー」生産を考えてみてはいかがでしょうか。

住吉小女子

明君(六年)が三位

市郡小学校卓球大会

第七回本庄市由利郡小学校卓球大会が十月三日、本庄市の市立北中学校体育館で行われました。

本町からは、住吉・老方・大琴の各小児童が出場。市郡内の強豪選手を相手によくがんばり、女子団体の部で住吉小が、男子個人の部で大琴小六年の小松明君が、それぞれ三位入賞を果たしました。

育子さん(玉小)が一位

市郡珠算競技大会

本庄市由利地区商工会連絡

協議会主催の第二十八回市郡珠算競技大会は十月十七日、鶴舞小学校体育館で行われ、第三部(小学校)に出場した本町玉米小学校六年の小松育子さんが、個人の部で第一位となり本庄市長賞を獲得したほか、団体の部で老方小が二位になるなど、本町児童は各種目に好成績を収めました。

このほかの上位入賞者等は次のとおりです。
《個人競技》・五位—鈴木貴子(大琴小五年)・《読上算の部》・五位—小松育子(玉米小六年)・《読上暗算の部》・四位—吉川栄子(玉米小五年)・五位—鈴木貴子(大琴小五年)

町上空からの眺めに感興 自衛隊ヘリ体験とう乗飛行



順番に乗り込み、空からのふるさとの眺めに感興

陸上自衛隊ヘリコプターによる体験とう乗飛行が九月二十九日午後、台山グラウンドを臨時ヘリポートにして行われました。

これは、秋田陸上自衛隊が、町内からとう乗を募集し実施したもので、最初七月九日に予定していたものですが悪天候などに見舞われ延び延びになっていたものです。

これが今年度最後のチャンスといわれたこの日は、久しぶりに好天に恵まれ、抽選により決定された二十人が、仙台市の東北方面総監部から飛んできたHUIB型・八人乗りのヘリに順番に乗り込み、東由利上空を旋回しながら、空からわがふるさとや、遠く雄平仙の平野、日本海を眺め、新たな感興にひたっていました。

年代に合わせコース設定

全町マラソン大会

全員が元気に完走



ガンバレ！ゴール前のデッドヒートに声援もいちだんと高い

町教育委員会と町陸上競技協会の主催する第八回全町マラソン大会が十月十八日、それぞれの年代に合わせた一キロから四キロのコースで行われました。

当日は、小・中学生二百七十三人が参加。全町大会にしては一般からの参加者がなく、大会関係者を残念がらせていました。

胸と背にゼッケンをつけた選手らは、刈り取りの進む田んぼを横目に公民館前のゴール目指して力走、全員が元気に完走しました。

各部の上位入賞者名等は次のとおりです。

〔小学校男子の部（跡見坂）〕

山の小松亀之助氏によれば、いつの時代かさだかではないが、今の八塩ダムのある深山地内で生活していた人達の、くらしが成りたたなくなつて、移り住んだことからだといふ。自分達の土地への郷愁か、そ

沢シリーズ⑥

とりいの沢（深山）

れともまわりの人達が深山衆といふことで、呼ぶようになつたものだろうか。

別名のとりいの沢は、石高線の舗装道路から深山線に入つた数十米の所に、八塩山への参詣道路として、大きな鳥居があつたことから鳥居の沢

かつてこの沢には四十八軒の家があつて、八塩参詣でにぎやかであつたらしい。その屋敷跡がかなり残つてゐること、桶に入れた下肥を馬の背につけ鳥居をくぐるのは失礼だとして、鳥居の外に廻り道をつくつたものだ。小松氏は教えてくれた。鳥居は神に供えた鶏のとりまき木という。

（畑山昭一）

公民館前1km

〔五年生〕 ①畠山章（老方小、5分26秒） ②畠山重徳（老方小） ③工藤秀晃（蔵小） 〔六年生〕 ①小松和明（蔵小、5分16秒） ②莊野健（玉米小） ③高橋忠英（玉米小）

〔小学校女子の部（町民グラウンド）公民館1km〕 ①鈴木貴子（大） ②佐々木 ③柏原恭子（老方小） ④菊地享（玉米小、3分21秒） ⑤阿部司（蔵小） ⑥小松育子（玉米小）

〔中学校男子の部（高戸屋）公民館4km〕 ①佐々木精人（13分4秒） ②畠山弘喜 ③石綿伸郎 〔二年生〕 ①小松 ②鈴木智弥 ③佐々木信幸

あなたの体力年齢は？

五種目のテスト実施

あなたの体力年齢は何歳——体育の日の十月十日、町内の二十歳から六十歳までを対象にした体力テストが、東中体育館で行われました。

これは、自分の体力を確かめ、その結果に基づいて自分に適した運動を行い、体力の保持

増進に努めてもらおうと町教育委員会が実施したものです。テストは、スキージャンプ、技のようなジグザグドリブル、反復横とび・垂直とび・握力、急歩の五種目。

町教育委員会では、今後この体力テストを実施していくことにしていますので、若さを保ち、バランスのとれた体力で活力ある毎日を送るために、あなたも是非一度受けてみてはいかがでしょうか。



ヘジグザグドリブルテストへスキージャンプのよう。終われば汗びっしょり

へ握力テストへ笑わせないでネ！力が入らなくなつてしまいます

町長日記は休ませていただきます。

11月のこよみ

曜 日	行 事
① 日	生活文化祭(〜3日)
2 月	
③ 火	可功労者表彰式(有鄰館)
4 水	インフルエンザ予防接種
5 木	
6 金	「高瀬館」落成式・「市道台橋」渡りぞめ インフルエンザ予防接種
7 土	大分防止訓練(大琴)
⑧ 日	
9 月	ことぶき大学
10 火	第1回桐保管理コンクール表彰式 生ワクチン投与、貧血改善学級(蔵)
11 水	妊婦検診
12 木	
13 金	
14 土	
⑮ 日	
16 月	循環器二次検診(有鄰館)
17 火	〃 (大蔵館)
18 水	新入学児童健康診断
19 木	貧血・乳がん検診
20 金	三種混合予防接種
21 土	
⑳ 日	
㉑ 月	
24 火	
25 水	インフルエンザ予防接種
26 木	貧血・乳がん検診
27 金	インフルエンザ予防接種
28 土	
㉙ 日	
30 月	ことぶき大学
摘 要	1日〜7日 全県秋の火災予防運動 30日 国保税(3期)納期限 家屋調査(2次)

「ふるさと写真史」を編集

あなたの一枚を

町では、明治以降の激しい時代の流れとともに、町の人々の暮らしがどのようなふうに変わってきたかを写真で語りかけよう、と、このほど、町教育委員会の中に、ボランティアによる推進態勢「ふるさと写真史」が

青少年の非行が増える傾向の中にあって、青少年に悪影響を与えるおそれのある雑誌をみんなで追放し、明るい社会づくりにつとめようと、秋田県・秋田県教育委員会・秋田県警察本部・市町村が主催して、十一月一日から三十日までで、「有害雑誌をなくす県民運動月間」と定め、さまざまな運動を展開することになりました。

運動の重点は、
一、青少年に有害な雑誌の追放意識を高める。
二、有害雑誌用の自動販売機を地域から追放する。
三、有害な雑誌は、買わない、見ない、家庭に持ち込まない運動の展開。
となっており、家庭をはじめとして職場や地域でも、明日を築く原動力となる青少年を健全に育てるため、有害雑誌は白ポストに入れるなど、こうした運動に対する理解と協

力を望んでいます。
県消防防災課では、危険物取扱者試験受験に際する講習会を、次により秋田県正庁で実施します。
受講希望者は、十一月四日から十日までの間に、秋田県消防防災課内・秋田県危険物安全協会宛(秋田市山王四丁目一番一号)に申し込みしてください。
△乙種第四類危険物取扱者▽
・講習日 11月25日〜26日
・受講料 四千元
△丙種危険物取扱者▽
・講習日 11月27日
・受講料 三千元
受講案内・受講申請書等は、本庄地区消防事務組合消防本部(電話〇一八四二二一四

おしらせ

町の概要

人口総数 6,335人
うち男 3,118人
うち女 3,217人
世帯数 1,449戸
面積 148.51km²
(56.9.30現在)

有害雑誌を追放しよう

十一月に県民運動展開

編集室」を発足させました。

これは、人々の生活や風俗の歴史の変遷を伝える写真の保存している方々から借り受け、複製・編集し、後世に伝えようというもので、昭和五十九年の印刷・刊行をめぐ

に、今年から年次的に作業を進めていこうというものです。

町の近世写真史にあたる一枚を、古い写真を保存されている方は、写真史編集室(電話二三一〇、又は二三一一番)にお知らせください。

危険物取扱者試験の講習会実施

県消防防災課では、危険物取扱者試験受験に際する講習会を、次により秋田県正庁で実施します。

受講希望者は、十一月四日から十日までの間に、秋田県消防防災課内・秋田県危険物安全協会宛(秋田市山王四丁目一番一号)に申し込みしてください。

防犯灯寄贈し独居老人宅の配線を点検

東北電力

防犯、交通事故防止などに役立ててください。と十月十九日、東北電力(株)本庄営業所では、秋のサービス旬間にちなみ、今秋も水銀防犯灯一基を寄贈してくれました。

町では、早速、宿・幅野間に取り付け、地域の安全に役立てることにしました。

また、十月二十六日には、町内の一人暮らし老人宅を訪れ、無料で配線点検をしてもらいました。

社福だより

香典返しとして、故畠山清造氏のご遺族(畠山健さん、下通)より金一封が届けられました。

故人のご冥福を衷心よりお祈り申し上げます。

善意

▼老方小へ雑巾130枚 老人クラブ老方敬寿会婦人部(森川クメノ部長)から。

慶弔だより

9月21日〜10月20日

〇うぶ声

小松修子 宇戸坂 長敬 二女
遠藤宗徳 下小路 光昭 長男
遠藤 翼 十一ノ前 治平 二男
小野昭枝 横小路 英明 長女
阿部かすみ 葎沢 司 長女

〇結婚

小野 清 夫 宿
畠山 富美子 大吹川
小松 俊一 松 柴
大日向 良子 宮の前
高橋 栄 記 杉 森
小野 ブン子 雄物川町
佐々木 栄 大内町
佐々木 タケ子 大琴

・お悔み申し上げます

工藤 フキ 中の沢 59歳
畠山 清造 下通 56歳
八嶋ハツミ 黒淵 69歳
佐藤 スエ 上通 74歳

町出身者往来

十月一日、石高出身で舞踊家の佐藤三郎氏来庁。
佐藤氏は、正派若柳流の名取り、芸名「若柳喜久凰」。東京文京区西片住。

たくましく正しく伸びる青少年

十一月は全国青少年健全育成強調月間

ひろば



公民館のひろば

A cartoon illustration of a dog sitting on a small stage, playing an acoustic guitar and singing into a microphone. The dog is looking towards the viewer. The background is a simple sketch of a stage with some smoke or light effects. The signature 'sho' is visible in the bottom right corner of the illustration.

家庭教育
総合セミナーより

昭和五十二年にカラオケの波にのって誕生したのがこの「松ぼっくりクラブ」

（会長小松睦男、田代）である。

会員は男五人、女五人。その中には三組の夫婦がいる。いずれも

歌が好きで好きでたまらないという人たちがばかり。高校時代に民謡クラブで活躍してきた尺八の達人や、夜のカラオケスナックで鍛えた歌手顔まけの人もいる。

春は花見、夏は海水浴、秋はナベツコ遠足、そして冬はジングルベルのころやかなメロディーにのったクリスマスパーティーと楽しみははてしない。

小松会長は七年前に東京からUターンし、以来遊ぶとこ

ろの少い町内で何か
楽しいことがないも
のかと考え、自分と
同じ歌の好きな友人
をさそつてこの会を
結成したという。

健康を育てる

にし、体を強健にするなどが
大切とされています。

心も体も伸び盛りの子どもには、規律ある生活の中で十分栄養をとり、体を動かして存分に遊ぶことが大切です。良い生活習慣は小さいときから義務づけ、親を中心とした家族の協力と、地域連帯のなかで、心身ともに健康な子どもに育てたいものです。



子どもの視力の異常は、読

子どもの視力の異常は、読書ぎらい、勉強が長続きしない、落ちつきがないなどの原因となるため、できるだけ早期に異常を発見し、矯正が必要です。最も多い近視を防ぐためには戸外運動を盛んにし、遠方を見て目を休ませること、また、偏食をさけ、たん白質カルシウムなどの摂取を十分

新刊購入図書

▼子供たちの復讐(上・下)
▼日本の自然と美(1さすらいの詩、2愛と死への旅、3無限への祈り、4流れる水も人も、5花の思想史、6舞いあがる星を求めて)
▼人生のことば120―現代人のために―▼男でござる(風の巻、龍の巻)

体格は伸びたが体力の伸びが伴わない、身のこなしが下手で顔のけが多い、骨折しやすいなど、子どもの発育に關した悩みを訴える親が多くなりました。

かつて子どもの健康問題といえば伝染病や皮膚病といった病気が主なものでしたが、生活環境や生活条件の変化によって、こうした新しい健康問題が生じてきています。

秋田県の子どもの体格は、身長体重とも全国上位にあり、体格、体型では申し分ないほど立派になってきているといわれています。



子供の健康のためには十分遊ばせることも大切

ていますが、必要以上の激しい運動はかえって体をこわす

ともいわれ、その子どもの体力にあつた運動をさせることが大切です。

最近の子どもは背骨が「ぐにやぐにや」で良い姿勢がとれなくなつたともいわれます。

の活動や学習能力を低下させることにつながります。

良い姿勢は適度な運動とバランスのとれた栄養で筋肉がほどよく発達することによって得られます。日常生活の中では、体を後へそらせる運動や、背すじを伸ばし、常に高く立つような心がけることが大切とされています。

む
し
歯

県内の子どものむし歯保有の割合は全国平均に比べて高く、逆に治療の割合は低くなっています。これは歯科医療施設の不足にもよりますが、小さいときから歯みがきの習慣づけがなされていないことが、最大の原因とされています。むし歯は健康全体にかかわることでもあるため、幼児期からの歯みがきの習慣づけが最も重要とされています。

省エネは生かす
私の知恵と腕



乳幼児学級を開設

公民館では、家庭教育事業の一環として乳幼児学級を開設しておりますが、今月6日の学級では、「子ども健康」について考えてみることにしています。

今年度は、永慶保育園の父母や祖父母を主対象に行

ておりますが、一般の方
の参加を希望する方がおり
ましたら是非おいでくださ
い。

と き	と ころ	内 容
11月6日(金) 午後1時～3時	永慶保育園	ビデオを見て話 し合い。